

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



# 茅小だより 2月号

令和5年1月31日（火）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校  
校長 吉野 利彦

## 豊かな体験が 子どもの心を動かす

厳しい寒さが続いておりますが、梅の開花便りが聞こえ始め、春の訪れが待ち遠しい頃となりました。保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

学校では、年が明けてからは、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染が、それほど広がっておらず、各学年とも工夫を図りながら、日々の教育活動を進めております。

さて、今回は、ある教育誌を読んでいて目にとまった、小学校の担任の先生のエピソードを紹介いたします。そこには、クラスの男子児童から学んだことが記載されていました。

その子は、書くことにとても苦手意識がある子で、学習後の振り返りカードに書かれる内容は、「楽しかった」や「おもしろかった」といった一言程度が多かったそうです。ところが、酪農体験に参加した際には、「子牛にミルクをあげたらね、すごい力でほにゅうびんにすいつくんだ。」などつぶやきながら、夢中になって自分の気持ちをカードに書いたそうです。カードの最後には、「とくにびっくりしたのは、お母さん牛が年をとってミルクがとれなくなると、『はい牛』といって人間が食べるお肉にされてしまうことです。ぼく場主さんが言っていた命をいただくことのいみがはじめてわかりました。」という、それまで見たことのない言葉が書かれていたそうです。

その先生は、本当に心を強く動かされるような体験がもつ力を、この子から教えてもらったと綴っておられました。

子どもたちが本物と出会う豊かな体験を大切にしながら、教育活動を展開していくことの重要性を改めて感じました。

### ◆丸池のリニューアル工事が完成しました◆

創立130周年記念事業として、PTAの皆様方が中心となって、これまで計画・準備を進めてきていただいた丸池のリニューアル工事が遂に完成し、見事なウッドデッキが丸池の周りに設置されました。丸池が、これまで以上に、子どもたちの憩いの場になることと思います。

PTAの皆様方の子どもたちを思う温かなお気持ちに心より感謝申し上げます。

